

第 14 章 統一書名典拠レコード (日本名)

この章では、統一書名典拠ファイルに登録すべき日本名のレコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及びレコード修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定されていない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

第 15 章で規定する事項のうち、この章と共通するものについては、その章でさらに別の規定が示されていない限り、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との関係〕

データ記入を行う際は「日本目録規則 1987 年版改訂版」(以下「NCR87R」という)に準拠する。また音楽作品名に対するレコードのデータ記入を行う際は、音楽図書館協議会目録委員会編「日本目録規則本版音楽作品の統一タイトル(案)」(1985.12.18)(以下、「音図協案」と略す。また、本章で特に断りなく「NCR87R」という場合は、「音図協案」も含める)をも参照する。

それぞれのフィールドにデータ記入を行う際に準拠すべき「NCR87R」及び「音図協案」の条項番号を以下に示す。

「—」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

なお、準拠すべき条項であっても、「目録情報の基準」及び本マニュアルと相違する事項については、「目録情報の基準」及び本マニュアルに従うことに注意する必要がある。

(⇒第 50 章, 第 51 章)

14.0.1	日本名, 日本名以外	—
14.1.1	ID	—
14.1.2	MARC	—
14.2.1	HDNG	26.2 (音図協案) 2, 3, 4, 5, 6, 7
14.3.1	UNID	—
14.4.1	SF	(音図協案) 9
14.4.2	SAF	—
14.5.1	NOTE	—

14.0.1 日本名、日本名以外

ここでは、HDNGフィールドに記録する統一標目形の決定に際して、著作の名称が日本名（NCR 8 7 Rの該当条項及び本マニュアルの第 14 章を適用しデータ記入を行なうべき名称）であるか、日本名以外（AACR 2の該当条項及び本マニュアルの第 15 章を適用しデータ記入を行なうべき名称）であるかを判断する基準を示す。

14.0.1A [通則]

A1 統一タイトルのみからなる統一標目形の場合（単独形）

A1.1

創作された著作の言語が日本語、中国語又は韓国・朝鮮語である場合は、当該著作の名称は日本名である。

NCR 8 7 R及び本マニュアルの第 14 章を適用しデータ記入を行なう。

目録対象資料上の表示： 宇治拾遺物語

創作された著作の言語： 日本語

HDNG: 宇治拾遺物語 (KOTEN:657) ||ウジ シュウイ モカガタ
(NCR 8 7 R, 本マニュアルの第 14 章を適用)

変更

A1.2

創作された著作の言語が上記以外である場合は、当該著作の名称は日本名以外である。

AACR 2及び本マニュアルの第 15 章を適用しデータ記入を行なう。

目録対象資料上の表示： ヨハネによる福音書

創作された著作の言語： ギリシア語

HDNG: Bible. N. T. John
(AACR 2, 本マニュアルの第 15 章を適用)

A1.3

音楽作品のように、著作の言語により判断できない場合は、当該作品のよく知られた名称の言語を考慮し判断する。

14.0.1A【通則】(続)

A2 著者標目と統一タイトルからなる統一標目形の場合(複合形)

A2.1

著者標目が日本名である場合は、当該著作の名称は日本名である。
NCR 87R及び本マニュアルの第14章を適用しデータ記入を行なう。

目録対象資料上の表示: The twilight heron
作品の作曲者: 団伊玖磨

HDNG:団, 伊玖磨(1924-) -- 夕鶴 (歌劇)||ドン, イマ -- ユズル (カゲキ)
(NCR 87R, 本マニュアルの第14章を適用)

A2.2

著者標目が日本名以外である場合、当該著作の名称は日本名以外である。
AACR 2及び本マニュアルの第15章を適用しデータ記入を行なう。

目録対象資料上の表示: 歌劇「ドン・ジョバンニ」
作品の作曲者: モーツァルト

HDNG:Mozart, Wolfgang Amadeus, 1756-1791 -- Don Giovanni
(AACR 2, 本マニュアルの第15章を適用)

14.0.1B《注意事項》

B1

日本名に対して、AACR 2を適用し統一標目形を決定してはならない。
日本名に対するAACR 2に基づく標目形は、統一標目形フラグとしてアスタリスク(*)を付し、SFフィールドに記録する。

B2

外国名に対して、NCR 87Rを適用し統一標目形を決定してはならない。
外国名に対するNCR 87Rに基づく標目形は、統一標目形フラグとしてアスタリスク(*)を付し、SFフィールドに記録する。

【関連項目】

- 14.2.1 HDNG
- 14.4.1 SF
- 15.2.1 HDNG
- 15.4.1 SF

14.1.1 ID

14.1.1A [形式]

ID	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
レコードID	自動付与	固定長	10バイト	1

14.1.1B [フィールド内容とデータ要素]

IDフィールドには、目録システムがそれぞれのレコードに対して付与した英数字10桁から成るレコードIDがデータ要素として記録される。

目録システムは、レコードIDによってそれぞれのレコードの管理を行う。

14.1.1C [データ記入及び表示例]

レコードIDの付与は、COPYコマンド又はCREATEコマンド発行の時点で行われる。当該コマンドが発行されると、目録システムは、新規に登録されるレコードに対して新たにレコードIDを付与し、新規入力画面/流用入力画面に当該レコードIDを表示する。

レコードIDは、画面上では、1バイトコードの不等号 (<) と (>) の間に表示される。

<EA0002136X>

レコードIDは、目録システムが自動的に付与するものであり、目録担当者が入力することはできない。

[関連項目]

14.4.2 SAF

14.5.1 NOTE

14.1.2 MARC

14.1.2A [形式]

MARC	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変更ありフラグ	自動付与	可変長	7バイト	1

14.1.2B [フィールド内容とデータ要素]

MARCフィールドには、流用元参照レコードに対して定期更新時に何らかの修正が行われたことを示す英数字7桁から成るコードがデータ要素として記録される。

14.1.2C [データ記入及び表示例]

変更ありフラグは、目録システムが自動的に付与するものであり、目録担当者が入力することはできない。
なお、変更ありフラグが表示されているレコードに対してEDITコマンドが発行された場合は、登録コマンド発行後、目録システムは、MARCフィールドの表示を行わなくなる。当該レコードに対して再度MARCフィールドが表示されるのは、流用元参照レコードに対して再び修正が行われた場合のみである。

流用元参照レコードに対してレコード修正が行われた場合

MARC:arrived

流用元参照レコードが削除された場合

MARC:deleted

流用元参照レコードに対して修正が行われていない場合は、このフィールド自体が表示されない。

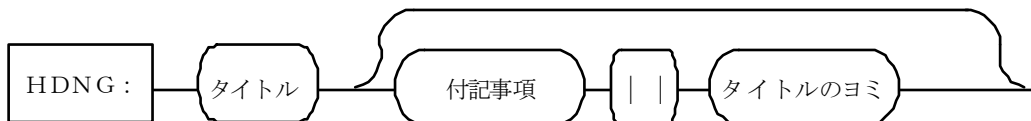
14.2.1 HDNG

14.2.1A [形式]

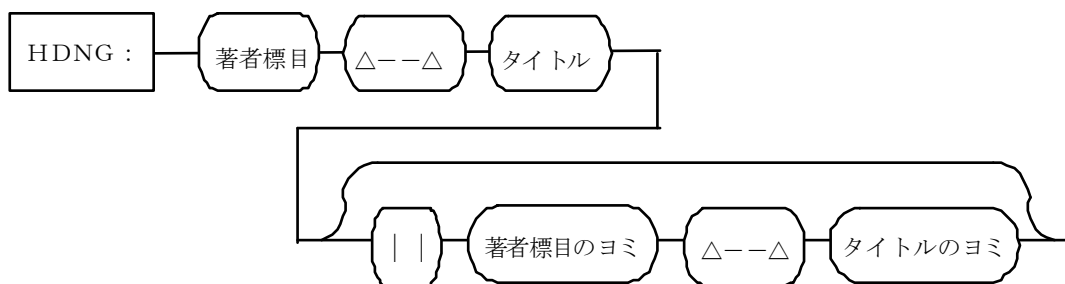
HDNG	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
統一標目形	必須1	可変長		1
名称	必須1	(可変長)	(254バイト)	
名称のヨミ	必須2	(可変長)	(254バイト)	

14.2.1B [記述文法]

- 1) 名称がタイトルのみの場合 (単独形)



- 2) 名称が著者標目とタイトルから成る場合 (複合形)



14.2.1C [フィールド内容とデータ要素]

HDNGには、統一タイトルの統一標目形を記録する。

HDNGのデータ要素は、名称、付記事項及び名称のヨミである。

HDNGは一意的なものではなくてはならない。したがって名称等が一致するような場合は、何らかの付記事項を加えた形で記録する。

名称は次の要素から成る。

- 1) ①無著者名古典，聖典，作曲者を有しない音楽作品名
 タイトルのみ (単独形)
 必要に応じて付記事項を加える

変更

追加

変更

14.2.1C [データ要素] (続)

変更

- ②著者等を有する古典作品名
タイトルのみ (単独形)
ただし、著者名を付記事項として加える。必要に応じて他の付記事項も加える
- 2) 作曲者を有する音楽作品名
著者標目とタイトル (複合形)
必要に応じて付記事項を加える

名称のヨミは次の要素からなる。

変更

- 1) 無著者名古典を含む古典、聖典、作曲者を有しない音楽作品名の場合
タイトルのヨミのみ (単独形)
- 2) 作曲者を有する音楽作品名
著者標目のヨミとタイトルのヨミ (複合形)

14.2.1D [データ記入及び記入例]

D1

名称は、資料に顕著に表示されている文字の形で記録する。

D2

著者標目とタイトルの間には、スペース、ハイフン、ハイフン、スペース (△ー△) を記入する。

D3

著者標目及び著者標目のヨミの形は、著者名典拠レコード (日本名) のHDNGに規定するところに従う。
(⇒8.2.1, 9.2.1, 10.2.1)

D4

名称全体がローマ字、カタカナ、数字で表記されている場合は、名称のヨミを記録する必要はない。

D5

無著者名古典を含む古典作品名からなるタイトルで、他の統一タイトルと区別したり、さらに敷衍する必要がある場合には、付記事項を記録する。統一タイトルにおける付記事項は、タイトルに続けて丸括弧 (()) 内に記録する。

なお、付記事項のヨミは記録しない。

D6

著作の成立に責任性を持つ著者等を有する日本語の古典作品 (記録史料・文書等を除く、1868年以前に成立した日本語の著作全般) においては、著者名 (著者等の名称。必要に応じて役割を付す。) を付記事項とする。この付記事項はタイトルの識別の必要の有無にかかわらず記録する。

著者名の記録方法は、和図書書誌レコードのTR (責任表示及び並列責任表示) に規定するところに準じる。(⇒2.2.1F3.3, F3.4, F3.5)

追加

14.2.1D [データ記入及び記入例] (続)

D7

日本語の古典作品の統一書名典拠レコードの作成単位は、国文学研究資料館の提供する「日本古典籍総合目録データベース」(<http://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/about.html>)に該当する著作レコードがある場合は、その単位に揃える。該当する著作レコードがない場合は、「目録情報の基準 第4版」9.2.2.に従い、著作を単位とする。

D8

「日本古典籍総合目録データベース」に収録されている日本語の古典作品は、同データベースの著作レコード中の「統一書名」をそのままタイトルとして採用する。あわせて、付記事項として「KOTEN:」に続けて同レコード中の「著作 ID」(著作レコード番号)を記録する。この付記事項は識別の必要の有無にかかわらず記録する。

同データベースの著作レコード中にフィールド「著者」が存在する場合は、「著者」を最初の付記事項としてまず記録し(記録方法は前項に従う)、続けて「著作 ID」を記録する。「著者」名と「著作 ID」の間には、スペース、コロン、スペース(△:△)を置く。

なお、「日本古典籍総合目録データベース」の著作レコードでは資料に示された著者名形(「作品著者名」と統一標目に相当する「統一著者名」の形が異なる場合があり、その際は「作品著者名」の後ろに、「統一著者名」の形を丸括弧(())に入れて付記する形をとっている。そのような形の著作レコードを元に統一書名典拠レコードを作成する場合は、統一書名典拠レコードの付記事項には「統一著者名」を採用して記録する。

タイトルのヨミについては、「目録情報の基準」の11.3.3(分かち書き)によって分かち書きを行う。

(例) HDNG: 竹取物語(KOTEN:5389)||タケトリ モノガタリ

* 「日本古典籍総合目録データベース」の著作レコード

著作 ID:5389

統一書名:竹取物語(たけとりものがたり)

(無著者名古典)

(例) HDNG: 水無瀬三吟百韻(宗祇, 肖柏, 宗長 : KOTEN:505191)||ミナセ サンギン ヒャクイン

* 「日本古典籍総合目録データベース」の著作レコード

著作 ID:505191

統一書名:水無瀬三吟百韻(みなせさんぎんひゃくいん)

著者:宗祇

肖柏

宗長

(「著者」の数が同一役割で3までの場合)

(例) HDNG: 古今和歌集(紀友則 [ほか] 撰 : KOTEN:2664)||コキン ワカシュウ

* 「日本古典籍総合目録データベース」の著作レコード

著作 ID:2664

統一書名:古今和歌集(こきんわかしゅう)

著者:紀/友則

紀/貫之

凡河内/躬恒

壬生/忠岑 撰

(「著者」の数が同一役割で4以上の場合)

追加

14.2.1D [データ記入及び記入例] (続)

(例) HDNG: 古事記(太安麻呂編 : KOTEN:2880)||コジキ
 * 「日本古典籍総合目録データベース」の著作レコード
 著作 ID:2880
 統一書名:古事記(こじき)
 著者:太/安万侶(太/安麻呂)編
 (作品著者名と統一著者名が異なる場合。「太/安万侶」が作品著者名、「太/安麻呂」が統一著者名)

(例) HDNG: 江戸名所図会(斎藤長秋著 ; 長谷川雪旦画 : KOTEN:14324)||エドメイショズエ
 * 「日本古典籍総合目録データベース」の著作レコード
 著作 ID:14324
 統一書名:江戸名所図会(えどめいしょずえ)
 著者:松濤軒/斎藤/長秋(斎藤/長秋)著
 長谷川/雪旦 画
 (「著者」に複数の役割がある場合。なお、「松濤軒/斎藤/長秋」が作品著者名、「斎藤/長秋」が統一著者名)

D9

追加

著者標目のヨミとタイトルのヨミとの間には、スペース、ハイフン、ハイフン、スペース(△ー△)を記入する。

HDNG:竹取物語||タケトリモリガタリ

HDNG:儀禮||ギレイ

HDNG:細川, 俊夫(1955-) -- 時の果てへ||ホカリ, トシオ -- トキノハテエ

HDNG:武満, 徹(1930-) -- Asterism||タケミツ, トル -- Asterism
 (作品名がローマ字, カタカナ, 数字で表記されている場合)

削除

D10

楽曲形式名からなるタイトルの場合、当該楽曲形式名称の日本語形に必要な付記事項を付し記録する。
 楽曲形式名には付録3.1「楽曲形式名名称」に定める日本語形を使用する。

HDNG:伊福部, 昭(1914-) -- ソナタ, ヴァイオリン, ピアノ ||イフケベ, アキラ -- ソナタ, ヴァイオリン, ピアノ

D11

必要な付記事項のうち、演奏手段には付録3.2「楽器(群)名称」に定める日本語形を使用する。

D12

音楽作品に対する統一標目形で、次のものに対応する集合タイトルをタイトルとすることができる。

1) 作曲者の全作品

- 2) さまざまな楽曲形式，演奏手段の複数の作品
- 3) 特定の楽曲形式，演奏手段の複数の作品

HDNG:山田, 耕筰 (1886-1965) -- 全集||ヤマダ, コウサク -- ゼンシュウ

14.2.1E (選択事項)

名称全体がローマ字，カタカナ，数字で表記されている場合であっても，名称のヨミを記録するかどうかは，各参加組織が自由に選択する。

14.2.1F 《注意事項》

F 1

著作の言語，訳，刊年等は，統一標目形に含めてはならない。これらは，書誌レコードのUTLフィールドの「その他の情報」に記録する。

次のような統一標目形は，誤りである。

(誤) HDNG:山田, 耕筰(1886-1965) -- 全集(1989) ||ヤマダ, コウサク -- ゼンシュウ(1989)

(誤) HDNG:団, 伊玖磨(1924-) -- 夕鶴 (歌劇). 英語ほか||ダン, イクマ -- ユズル (カゲキ)
エイゴ 劫

F 2

名称が著者標目及びタイトルから成る場合（複合形），そのヨミは必ず著者標目及びタイトル両者に対応して付ける。

著者標目が漢字等で，タイトルがローマ字，カタカナ，数字で表記されている場合でも，著者標目に対応するヨミとともに，タイトルに対応するヨミも省略せずに記録する。

次のような統一標目形は，誤りである。

(誤) HDNG:武満, 徹(1930-) -- Asterism//タケミツ, トオル

〔関連項目〕

- 2. 3. 3 UTL
- 8. 2. 1 HDNG
- 9. 2. 1 HDNG
- 10. 2. 1 HDNG
- 15. 2. 1 HDNG

14.3.1 UNID

14.3.1A [形式]

UNID	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
同定不能フラグ	不使用	固定長	1バイト	1

14.3.1B [フィールド内容とデータ要素]

UNIDフィールドは不使用とする。

14.3.1C [データ記入]

UNIDフィールドには同定不能フラグ等、いかなるデータをも記入してはならない。

変更

14.5.1 NOTE

14.5.1A [形式]

NOTE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
注記	必須1	可変長	1024バイト	1

14.5.1B [記述文法]

NOTE: [注記]

14.5.1C [フィールド内容とデータ要素]

NOTEフィールドには、典拠レコード内のデータ作成・修正等に関する各種情報を記録する。

NOTEフィールドは、他のフィールドには記録できないが、各参加機関が必要とする各種情報を記録するために設けられたフィールドである。

14.5.1D [データ記入及び記入例]

D1

統一標目形を決定し、典拠レコード作成の根拠とした目録対象資料について、そのタイトル、出版者、出版年等の書誌情報を記録する。

また、国文学研究資料館の提供する「日本古典籍総合目録データベース」を根拠とした場合や、何らかの資料に拠ったのではなく推量による記述等の場合にも、その旨を記録する。

(例) NOTE: 搜神記 / 干宝著 ; 竹田晃訳 (平凡社, 1964) による

(例) NOTE: 国文学研究資料館「日本古典籍総合目録データベース」による

(例) NOTE: 標目のヨミは推量による

D2

統一書名典拠レコードの識別に有効な場合は、国文学研究資料館の提供する「日本古典籍総合目録データベース」の著作レコード中の「分類」「成立年」等を記録することが望ましい。

(例) HDNG: 太平記 (KOTEN: 5298) || タイヘイキ

NOTE: 浄瑠璃

(「分類」が軍記物語や黄表紙の「太平記」ではない)

追加